

## 農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成18年11月2日公表

## 平成18年耕地面積（九州）

（平成18年7月15日現在）

- 耕地面積は前年に比べて3,600ha(0.6%)減少 -

## 【調査結果の概要】

九州における平成18年の耕地面積は57万haで、前年に比べて3,600ha(0.6%)減少しました。

このうち、田は32万9,500ha、畑は24万500haで、前年に比べてそれぞれ1,600ha(0.5%)、2,000ha(0.8%)減少しました。

表1 平成18年耕地面積

区分	平・18	17	対差	対比
	ha	ha	ha	%
計	570 000 (100.0)	573 600 (100.0)	3,600	99.4
田	329 500 (57.8)	331 100 (57.7)	1,600	99.5
畑	240 500 (42.2)	242 500 (42.3)	2,000	99.2

注：（ ）内の数値は、構成比(%)です。

この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。  
【[http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht\\_all.html](http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html)】  
この統計調査における調査の目的、調査の対象などは、【調査の仕様】P5に記載しています。

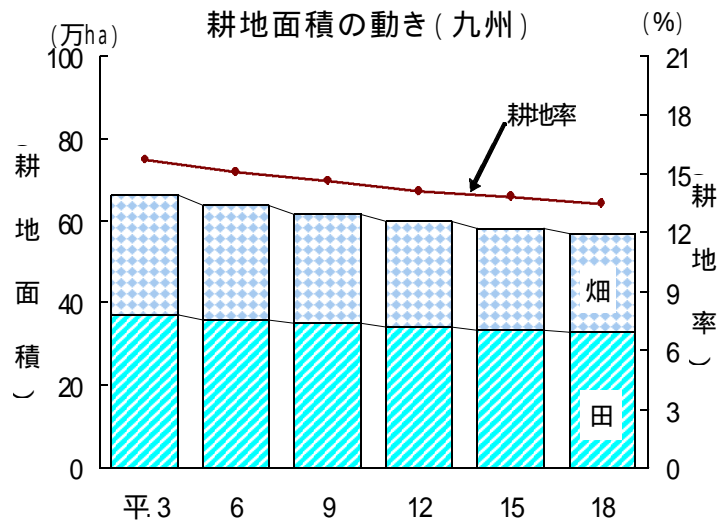
## 【解説】

### 1 耕地面積

平成18年の耕地面積は57万haで、前年に比べて3,600ha(0.6%)減少しました。

これは、主に耕作放棄や宅地等への転用などのかい廃によるものです。

なお、耕地面積を九州の総土地面積(421万7,567ha/国土地理院『平成17年全国都道府県市区町村別面積調』)で除した耕地率は、13.5%(17年は13.6%)となりました。



### 2 田

田の面積は32万9,500haで、前年に比べて1,600ha(0.5%)減少しました。

これは、開墾等の拡張はあったものの、耕作放棄や宅地等への転用などのかい廃によるものです。

表 2 平成18年 田の拡張・かい廃

区分	拡張					かい廃										
	計	開墾	干拓埋立	復旧	田畑転換	計	自然災害	工場用地	道路鉄道	宅地等	農林道等	植林	その他	耕作放棄	田畑転換	
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
平.18	27	19	-	8	-	1 690	28	114	130	550	35	57	628	599	149	

注：拡張・かい廃面積は、平成17年7月15日から平成18年7月14日までの間に生じたものです。(以下の各表において同じ。)

### 3 畑

畑の面積は24万500haで、前年に比べて2,000ha(0.8%)減少しました。

これは、耕作放棄からの開墾や田からの転換があったものの、耕作放棄及び宅地等への転用などのかい廃によるものです。

表 3 平成18年 畑の拡張・かい廃

区分	拡張					かい廃										
	計	開墾	干拓埋立	復旧	田畑転換	計	自然災害	工場用地	道路鉄道	宅地等	農林道等	植林	その他	耕作放棄	田畑転換	
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
平.18	258	108	-	1	149	2 200	9	70	69	376	85	157	1 430	1 420	-	

【統計表】

1 平成18年耕地面積

区 分	田			
	計		本 地	けい畔
	面 積	前年差		
	h a	h a	h a	h a
九州計	329 500	1 600	309 300	20 200
福 岡	69 400	400	66 100	3 300
佐 賀	44 300	200	42 400	1 890
長 崎	24 000	100	22 300	1 730
熊 本	72 100	200	67 600	4 440
大 分	41 900	300	38 500	3 390
宮 崎	37 900	200	35 300	2 530
鹿児島	40 000	200	37 100	2 900

区 分	畑			
	計		本 地	けい畔
	面 積	前年差		
	h a	h a	h a	h a
九州計	240 500	2 000	225 900	14 700
福 岡	19 700	400	18 800	951
佐 賀	11 400	200	10 500	858
長 崎	27 000	200	24 700	2 350
熊 本	47 700	400	43 600	4 190
大 分	17 800	400	16 800	960
宮 崎	32 100	0	31 200	889
鹿児島	84 900	400	80 400	4 460

2 平成18年耕地の拡張・かゝり廃面積

区分	田															
	拡張					かゝり廃										
	計	開墾	干拓 埋立	復旧	田畑 転換	計	自然 災害	人為かゝり廃								田畑 転換
								計	工場 用地	道路 鉄道	宅地 等	農林 道等	植林	その他 耕作放棄		
ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
九州計	27	19	-	8	-	1 690	28	1 510	114	130	550	35	57	628	599	149
福岡	0	-	-	0	-	437	-	417	52	35	160	8	5	157	156	20
佐賀	-	-	-	-	-	157	-	152	8	16	110	3	15	0	0	5
長崎	-	-	-	-	-	125	-	125	3	14	32	2	1	73	71	0
熊本	3	-	-	3	-	252	6	214	22	40	87	4	8	53	42	32
大分	5	-	-	5	-	300	2	297	7	6	54	6	5	219	218	1
宮崎	-	-	-	-	-	215	20	119	15	8	46	7	15	28	17	76
鹿児島	19	19	-	-	-	205	-	190	7	11	61	5	8	98	95	15

区分	畑															
	拡張					かゝり廃										
	計	開墾	干拓 埋立	復旧	田畑 転換	計	自然 災害	人為かゝり廃								田畑 転換
								計	工場 用地	道路 鉄道	宅地 等	農林 道等	植林	その他 耕作放棄		
ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
九州計	258	108	-	1	149	2 200	9	2 190	70	69	376	85	157	1 430	1 420	-
福岡	35	15	-	-	20	413	-	413	16	9	51	3	7	327	327	-
佐賀	6	1	-	-	5	190	-	190	8	5	18	2	34	123	123	-
長崎	21	21	-	-	0	164	-	164	5	19	39	10	2	89	84	-
熊本	47	15	-	0	32	408	0	408	15	8	81	9	55	240	240	-
大分	1	-	-	-	1	430	-	430	4	3	31	5	9	378	378	-
宮崎	79	2	-	1	76	133	9	124	7	3	46	20	20	28	23	-
鹿児島	69	54	-	-	15	460	-	460	15	22	110	36	30	247	246	-

## 【統計表の見方等】

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがあります。

原 数		6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1000)	3けた以下 (100)
ラウンドするけた		下 2 けた		下 1 けた	ラウンドしない
例	ラウンドする前(原数)	123 456	12 345	1 234	123
	ラウンドした数値(統計数値)	123 500	12 300	1 230	123

- 2 表中に用いた記号は以下のとおりです。  
「0」……………単位に満たないもの 「-」……………事実のないもの  
「 」……………減少したもの

## 【調査の仕様】

### 1 調査の目的

農作物の生産基盤である耕地の実態を把握し、生産対策、構造対策のほか、土地資源の有効利用など各種土地利用行政の企画立案の基礎資料並びに行政効果を判定するための基礎資料を作成することを目的としています。

### 2 調査の対象

各県の田耕地及び畑耕地を対象としています。

### 3 調査期日

耕地面積：平成18年7月15日

耕地の拡張・かい廃面積：平成17年7月15日～18年7月14日

### 4 調査方法

#### (1) 耕地面積

耕地とその周辺にある開墾可能な土地を約2ha(北海道では約10ha)となるよう区切って編成した単位区から抽出された「標本単位区」に対する職員の対地標本実測調査によって推定を行い、対地標本実測調査の効率が悪い遠隔地、離島、市街地等については、巡回・見積り及び関係機関からの情報収集・空中写真等の利用によって補完しています。

#### (2) 耕地の拡張・かい廃面積

巡回・見積り及び関係機関の資料・空中写真等の利用によって実施しています。

なお、平成14年度から耕地面積調査の精度向上を目的に、母集団である単位区の状況が大きく変化している地帯を重点に、一筆ごとに田畑別の地目と面積の現地確認等を行っています。これにより変化が明らかとなった面積については、拡張・かい廃面積の計に含めました。

このため、拡張・かい廃面積の計とその内訳の要因別面積の積上げ値は一致しない場合があります。

### 5 調査客体数

標本数： 5,790単位区

巡回・見積り： 261市町村

## 6 用語の解説

### (1) 耕地

農作物の栽培を目的とする土地のことをいい、けい畔を含みます。

#### ア 本地

直接農作物の栽培に供せられる土地で、けい畔を除いた耕地をいいます。

#### イ けい畔

耕地の一部にあって、主として本地の維持に必要なものをいいます。いわゆる畦（あぜ）のことで、田の場合、たん水設備となります。

#### ウ 田

たん水設備（けい畔など）と、これに所要の用水を供給しうる設備（用水源・用水路）を有する耕地をいいます。

#### エ 普通田

水稲の栽培を常態とする田をいいます。

#### オ 特殊田

普通田以外の田をいいます。

#### カ 畑

田以外の耕地をいいます。これには、通常、畑と呼ばれている普通畑のほか、樹園地及び牧草地を含みます。

#### キ 普通畑

畑のうち、樹園地及び牧草地を除くすべてのもので、通常、草本性作物、又は苗木等を栽培することを常態とするものをいいます。

#### ク 樹園地

畑のうち、果樹、茶などの木本性作物を1 a以上集団的に栽培するものをいいます。

なお、ホップ園、バナナ園、パインアップル園及びたけのこ栽培を行う竹林を含みます。

#### ケ 牧草地

畑のうち、牧草の栽培を専用とするものをいいます。

### (2) 拡張（増加要因）

耕地以外の地目から田又は畑に転換され、すでに作物を栽培するか又は次の作付期において、作物を栽培することが可能となった状態の耕地をいいます。

拡張面積は、開墾、干拓・埋立て、復旧によって生じます。田畑別にみた場合は、田畑転換によっても生じます。

#### ア 開墾

山林、原野、牧野、池沼（公有水面を除く。）又は雑種地を耕地にすることをいいます。宅地、塩田等を耕地とする場合もこれに含めます。

#### イ 干拓・埋立て

湖沼、その他の公有水面を、干拓又は埋立てして耕地とすることをいいます。

#### ウ 復旧

自然災害によってかい廃した耕地が再び耕地となることをいいます。

砂利採取地からの復旧もこれに含めました。

### (3) かい廃（減少要因）

田又は畑が他の地目に転換し、作物の栽培が困難となった状態の土地をいいます。かい廃面積は、自然災害、人為かい廃によって生じます。田畑別にみた場合は、田畑転換によっても生じます。

#### ア 自然災害

山くずれ、河川決壊等の災害により、耕地が流失、埋没、陥没あるいは土砂流入によって、耕地としての利用ができなくなったものをいいます。

## イ 人為かい廃

耕地を工場用地、道路、鉄道用地、宅地、農林道、山林、耕作放棄地（荒地）等とした場合をいいます。人為かい廃の内容は次のように区分しています。

### (ア) 工場用地

主に工場用地としてかい廃するもので、それに付属する倉庫、資材置場、道路、引込線などの施設用地も含まれます。

また、鉱業、建設、電気、ガス、水道関係の施設用地も含めました。

### (イ) 道路・鉄道用地

主に産業輸送に使用する道路、鉄道用地としてかい廃するもので、農林道を除く道路及び公営私営の鉄道関係の施設用地を含みます。

また、航空、港湾関係の施設用地、農業用水路以外の水路用地も含めました。

### (ウ) 宅地等

主に住宅、学校用地及び公園、その他の公共用社会福祉施設、会社等の厚生福祉施設用地としてかい廃するものです。

また、卸売、小売などの商業用地、墓地及びゴルフ場なども含めました。

### (イ) 農林道等

主に農林業自体に使用する道路、用排水路用地としてかい廃するもので、農業資材置場、農産物貯蔵庫、農業用倉庫、共同選果場、乾繭場など農業用施設用地を含みます。

また、養魚池、網干場なども含めました。

### (オ) 植林

人工造林（種子の直まきを含むが、苗木の栽培は含みません。）で山林としたものです。

### (カ) その他

耕作放棄地（荒地）、水没地及び河川用地となったものです。

転用先不明のものもこれに含めました。

### (キ) 耕作放棄

耕作の用に供されていましたが、耕作し得ない状態（荒地）になったことが確認された土地です。

## (4) 田畑転換

田が畑に、畑が田に現況の地目が変換することをいいます。

### 【掲載内容に関するお問い合わせ先】

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 (内線4753)

直通電話： 096 - 353 - 7574

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画第2係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 (内線4723)

直通電話： 096 - 353 - 7556